

避難場所の整備を

質問 8月に来襲した台風10号は県内に甚大な被害をもたらし市内への直撃も予想された。私の住む羽田町は、昔から水害の被害に悩まされてきたため、避難行動が早く、羽田小学校には90世帯181人が避難した。ところが市の最初の発表では羽田町の避難者はゼロというものだった。避難場所が羽田地区センターに指定されていたためのミスだった。今は修正されているが、避難の呼びかけはどうするのか。避難の受入をどうするのか。

市長 緊急告知ラジオ、緊急速報メール、テレビの文字放送、ホームページ、ツイッター、フェイスブック、広報



きくち 利美 議員(新世会)



羽田小学校に避難した地区住民

車等、市として利用できるあらゆる手段を用いて広報する。

羽田地区の避難場所については、施設面を総合的に判断して奥州市総合体育館が適していると考えている。

報告書を分かりやすく

質問 主要施策の報告書は、財源も明記すべきではないか。国からいくら県補助金がいくら、その他の収入がいくらで市の持ち出しがいくらかを明示してほしい。ついでに担当者の評価も載せてもらえれば非常に判断がしやすい。それを予算審査にも生かしてほしい。

市長 歳入と歳出の関係がわかるように記載方法を検討する。事業の評価は時間がかかるので結果の報告が遅くなっていたが、できるだけ決算審査の資料として活用できるようにしたい。

プールをなぜ廃止するのか



廃止が予定されている衣川温水プール

質問 今回衣川温水プールを廃止するに至った経緯はなぜなのか、また、廃止後の対応策と、廃止後の施設利用等はあるのかを考えているか。

市長 昭和54年の衣川村時代、温水プールの燃料費が大きく、平成20年ころには温水プールでないプールになった。利用者数についても年々減少し、施設の耐用年数も平成21年に経過した。漏水箇所も出ており、耐震の問題も含め、安心安全なプールを継続していくのが難しいことから、廃止を検討したものである。廃止後は、衣里小学校のプールを一般に供することを検討している。廃止後の施設利用は、現時点で決めている。

増える鳥獣の対応策を

質問 奥州市は野生鳥獣による被害が深刻化してきている。イノシシ、ニホンジカ、クマ等の被害状況をどう捉えているか、また、今後の被害防止策をどのように計画されるか。

市長 平成27年度の被害は、シカが16件で4、585アール、イノシシが3件で13アール、クマが3件で24アール、ハクビシンが1件で1アールの合計23件で4、541アールとなっている。農作物等の被害が出た場合は、鳥獣保護員や猟友会の方々に現地確認をしてもらい、捕獲が必要な場合は、鳥獣被害対策実施隊による捕獲をしている。併せて、中山間地域の里山では、クマの行動範囲が広がり、人家まで入ってくる危険性が高まるので、野生動物の餌場にしないよう、啓発活動に努める。



すがわら 明 議員(日本共産党)